

第 1 回水環境創造プラン行政部会 会議録

1 開催及び閉会に関する事項

(1) 開会

平成 18 年 10 月 12 日 (木) 午後 2 時 00 分

(2) 閉会

平成 18 年 10 月 12 日 (木) 午後 3 時 00 分

2 開催場所

岡崎市消防本部講堂

3 出席委員及び欠席委員等の氏名

(1) 出席委員

溝口敏明、加藤信、藤岡可三、古澤吉則、平松隆、足立晴義、鈴木義雄、秋野善美、中根良一、野場豊章、三上俊雄、内田義昭、川澄基、小林健吾 (代理 川澄安成)

(2) 欠席委員

なし

4 説明のための出席した事務局職員の職氏名

環境部長 柴田宗男、環境部調整監 山本恵一、環境保全課長 杉浦哲矢、環境保全課副主幹 糟谷慶一、環境保全課主任主査 蜂須賀功、環境保全課技師 大口光生

5 議題等

アンケート結果について ほか

6 議事の要旨

(1) 議題 1 アンケート結果について

- ・ アンケート結果は公表するのか。その場合、河川によっては回答数が少なく、流域市民の意見を代表できていないと考えられるものがある。(B 委員)
公開の際は、集計方法に注意する。(事務局)
- ・ アンケート回収率は今後変化する可能性があるか。(K 委員)
可能性は低いと考える。9 月 13 日以降、事務局まで回答は届いていない。(事務局)
- ・ 川沿いの市民だけでなく、山間部の市民の意見を聞いてもよいのではないか。
(K 委員)

アンケートは市民に均一に配布している。ただし、関心が深い川を質問した上で、集計を回答のあった川別に行ったものである。(事務局)

- ・ 現在検討中の乙川の河川整備計画でもアンケートを実施するとのことである。参考になるかもしれない。(B 委員、 J 委員)

(2) 議題 2 年間水収支について

- ・ 降雨の経年変化は整理されているか。(L 委員)
経年変化は考慮していない。ただし、収集できるデータは全て集め、平均年間降雨に最も近い年の雨量を計算に用いている。(事務局)

(3) 議題 3 汚濁負荷収支について

- ・ 合併処理浄化槽設置家庭、単独浄化槽設置家庭、汲取り家庭は実際の分布を調査しているのか。(L 委員)
分布は調査していない。処理形態別人口のみ整理している。(事務局)
- ・ 施肥から発生する負荷量は計上されているか。(C 委員)
農地からの負荷は、自然系として面積あたりの原単位を用いて算出している。また、汚濁負荷は BOD について算出しており、窒素やリンに比べると農地に由来する負荷の割合は低いと考えている。(事務局)

(4) 議題 4 基本方針の方向性検討

- ・ 市民が水との関わりを持ちやすい場所として公園があると考え。一方で公園内等の池の水量は減少傾向である。様々な工夫ができる場所であると考え。
(I 委員)
- ・ 水辺プラザや農業用水路の上部利用も連携させ、市民に喜んでもらえる計画にしていきたい。(I 委員)
- ・ 基本方針は、ブロック別にまとめるものか。(C 委員)
基本方針はブロック別にまとめる予定である。(事務局)
- ・ 数値目標は各ブロック別に設定するのか。(C 委員)
- ・ 数値目標を設定するならば、基本方針や考え方を具体的に整理するとよい。
(A 委員)
水環境創造プラン(マスタープラン)では方向性を示すのみとする予定である。アクションプランでは数値目標に加え、誰が、いつまでに、何をするかを検討し、進捗管理まで含めて計画を検討していきたい。(事務局)

- ・ 平成18年4月1日に岡崎市森林保全計画を策定した。本プランにも反映させて欲しい。(G委員)
- ・ 対策の方向性に「適切な土地利用」とある。将来の開発容量まで検討する予定はあるか。(G委員)
将来の開発容量まで検討する予定はない。(事務局)
- ・ 田んぼは環境に良い影響を与えると考える。本プランでは農地は対象としないのか。(N委員)
農地の保全等についても本プランに含まれる。記載が不十分な点があれば指摘して欲しい。(事務局)
- ・ プランの推進には地域を巻き込むことが必要と考える。市民の関心を環境にひきつけられるような計画となるよう検討を進めたい。(H委員)
- ・ 菅生川と伊賀川をきれいにする会の事務局を担当している。水に市民の関心を向ける啓発を清掃活動から行っていきたい。(F委員)
- ・ 基本方針について、「水の量」と「洪水」が分けられているが、両方とも水の量に関係がある事項ではないのか。(E委員)
基本方針の整理の仕方を検討する。(事務局)

(5) 議題 5 質疑応答

- ・ 関連する各議題に記載

7 その他

- ・ 本部会の内容は公開とし、会議録は部会長が内容の確認、了承を行う。(決定事項)
- ・ ブロック分割は、厳密には河川の流域界で分けられていないのではないかと。また、市民に分かりやすくするには、例えば「広田川ブロック」は、「広田川・安藤川ブロック」等とした方が良いのではないかと。(J委員)
ブロック分割は、都市計画マスタープランの地域分割と整合させている。ブロックの名称については、指摘に対応し検討する。(事務局)
- ・ 第2回水環境創造プラン検討委員会は平成18年10月24日(火)を予定している。(事務局)

【配付資料】

第 1 回水環境創造プラン行政部会 議事次第
第 1 回岡崎市水環境創造プラン行政部会 出席者名簿
水環境創造プラン行政部会 全体配席図
資料 -1:アンケート調査結果
資料 -2:環境を話し合う会における水環境に関する意見表結果整理
資料 -3:年間水収支モデルによる水環境の把握
資料 -4:汚濁負荷収支の把握
資料 -5:優先する基本方針案
参考資料 1:第 1 回水環境創造プラン検討委員会会議録
参考資料 2:第 2 回水環境創造プラン乙川部会会議録
参考資料 3:アンケート自由回答の整理

会議録署名者

水環境創造プラン検討委員会行政部会長

柴 田 宗 男